

# いなみ町議会だより



みんな揃って初詣!

## 12月定例議会

- 補正予算・議案審議・意見書……………P2～P3
- 一般質問（3議員）……………P4～P6
- 委員会活動報告……………P7～P8
- トピックス……………P9
- 企業めぐり・あとがき……………P10



今年はいいい年でありますように…。

# 平成十九年十二月定例会議案審議

平成19年第4回印南町議会定例会は12月3日開会し、7日閉会しました。  
今回の定例会の上程案件は、条例関係2件、規約の変更1件、字の変更1件、工事請負契約変更2件、19年度補正予算6件（一般、特別5件）、動産の購入1件の計13件が提案され、慎重審議の上、すべて可決しました。

さらに、請願1件の不採択、意見書1件の提出を可決しました。

## 平成19年度補正予算審議

一般会計 2億4,893万9千円を追加

総額 47億7,851万7千円

5特別会計 6,481万2千円を追加

### 一般会計

歳入で主な増額は地方交付税で約7千万円、国庫支出金で4,243万6千円、基金繰入金で1億円です。

歳出で主な増額は教育費で1億6,691万2千円、総務費で6,980万5千円、民生費で698万7千円、衛生費で229万2千円です。

### 印南町選挙管理委員及び同補充員の選挙結果について

本定例会において選挙管理委員、選挙管理委員補充員に次の方々が当選しました。

#### 選挙管理委員

小川幸雄 印南三四一八  
津村弘 西ノ地一三四  
瀧口茂昭 宮ノ前一六六  
弓倉三嗣 明神川四一七

#### 選挙管理委員補充員

川口主税 丹生一六八 二  
日下善弘 印南二八八 五  
清水保 山口三七六  
岡本正雄 島田二三四

任期は4年となっています。

## 各議案に対する質問と答弁

### 職員給与に関する条例の一部改正

人事院勧告では民間企業との格差が取り上げられているが、今回の内容もそういったことが加味されているのか。

地方公務員の給与と改定に関する事務次官通達の中で、官民格差の是正をなくすということです。

### 一般会計補正予算

真妻川又地区の鉄塔建設工事設計管理で72万3千円計上されているが、いつ頃から携帯電話が活用できるのか。

業者も決まっていないので、いつ頃とはわからないが、出来るだけ早い時期にと思っています。

稲原中学校関連工事として1億5千万円の補正となっているが、校舎の関連だけなのか。

校舎を中心として一部周辺整備等が含んでいる。

稲原中学校改造事業での備品購入費200万円について内容は。

稲原中学校の大規模改造の備品で、職員室及び教室の作りつけのロッカーです。

防災諸費の避難道路整備工事請負費について、場所はどこか。

地方地区で2箇所、元村地区で1箇所となっています。

水産業費の印南漁港地域基盤整備事業負担金で230万円の増になっているが、どういった規模なのか。

当初事業費より2,300万円の増額となり、1割分の230万円を補正するもので、事業として、舟あげ場の改修、野積み場の舗装、光川の防潮堤の嵩上げ



等が主なものです。

### 介護保険事業特別会計

**Q** 介護サービス等諸費で居宅介護サービス給付費と施設介護サービス給付費が金額的に大きいですが、この内容については。

**A** デイサービスとかショートステイ、訪問介護の需要が当初見込みより増えたための増額です。

**Q** 地域介護予防活動支援事業は、どこか地域が特定される場所があるのか。

**A** 事業名が地域介護事業というだけで、特定の地域を指していません。

### —— 動産の購入契約について

**Q** 3社での入札の落札率は？また、指名競争入札の参加資格というのは、どういった条件があるのか。

**A** 落札率は81.2%です。

条件としては、製造メーカーと販売業者が直接契約状態

にあることが一番安価であり、有利であるとの判断から3社選んでいる。

**Q** 3月までに運行委託業者の選定があると思うが、その件についてどのようにされるのか。

**A** 民間委託を考えている。選定等については、コスト面だけではなく、児童の安全性等を総合的に判断して、現在検討している。

**Q** 業者委託は入札制度になるのか、随意契約となるのか。

**A** 指名による入札等も検討、調整中でありませう。



今回購入のバス（日野リエッセ）

## 12月議会において議員発議による意見書が提案され、可決されました。(要望事項のみ掲載)

### 発議第8号

#### 道路特定財源諸税の暫定税率の維持による道路財源の確保を求める意見書

1. 道路整備を促進するため、道路特定財源諸税の暫定税率を10年間維持するとともに、受益者負担の趣旨にそぐわない一般財源化や転用をすることなく、道路整備の財源として確保すること。
2. 遅れている地方の道路整備と計画的修繕・更新を行うため、平成20年度以降も地方道路整備臨時交付金制度を継続し、拡充すること。

12月議会で請願1件が厚生常任委員会から不採択として報告され、審議の結果、賛成12対反対1で委員会の報告のとおり、不採択となりました。

### 請願第10号

#### 後期高齢者医療保険制度の中止・撤回を求める請願

#### 厚生委員会の意見

本制度は、国民皆保険を堅持するために国が行っている制度改革の一環であり、20年4月より施行されることになっている。

当町議会では、平成18年第4回定例会において、慎重審議の上、和歌山県後期高齢者医療広域連合の設置を決議し、制度を認めてきている経緯があり、制度の中止を求める本請願に対しては賛成しかねるものである。

審査結果 不採択

#### 委員会報告に対し、質疑がなされた。

**Q** 文章の中に慎重審議の上とあるが、この制度そのものの問題点はどこにあるのかというような分野の審議というのは、何点がされなかったのか。

**A** 請願は制度の撤回ということであり、制度をきちんと調べてみた。本制度については、当議会において昨年12月議会で、賛成多数で、議会の議決を経たところであり、慎重審議の中で意見書の提出という話しも出たが、撤回せよという意見書も出せないということ、不採択となった。

この後、請願内容についての賛成討論、反対討論があり、起立による採決の結果、12対1で委員会の意見（不採択）とおりの採決となりました。

# 元気な印南町の実現への 新年度予算の編成を!!




榎本 敏夫議員

**質問** 県の10月1日現在の人口は、102万395人で前年同期と比べ0.78%も減少し、12年連続のマイナスで、減少がこのペースで進めば平成22年には県人口も100万人を割るとのことであるが、仁坂知事は県の長期計画が示す「元気な和歌山」の実現に向けて、新年度はその第一歩を踏み出す予算編成になると発表していますが、その県下にある印南町の新年度予算編成計画はいかがでしょうか。

**参考までに、県が目指す将来像項目は、未来を拓く人間力育成、生涯現役で活躍できる社会の実現、国際競争力のある産業の育成、癒しと感動を与える郷土づくり、安心安全の確立、公共インフラの整備です。**

**答弁** 総務課長  
県は和歌山21世紀長期総合計画による未来にはばたく愛着ある元気な和歌山を目指す六つの項目を柱に県議会に上程中ですが、当町は20年度予算編成方針につきましては、11月1日各所属長に編成方針について通知を行いました。その内容は「人も自然もいきいき豊かで活力あふれるまち」の長期総合計画、後期編基本計画に添って、各施策の

**過日、県の提唱で当町で実施の「健康神話のふるさとウォーク」でも、県と町と町民の協力で印南町をよく知っていただけでしたが、そうした事業からでも協力体制の成果がよくわかります。是非よろしく。**



六項目を基本とし、集中改革プランに基づいた歳出削減のみならず、事業の選択、限られた財源で最大の効果を見るよう、取り組みを進めます。なお、具体的にはこれからです。

**再質問** 県の行政方針にのっとり進めていくのが元気な印南町づくりへ結びつくのではと思うが、その点はいかがでしょう。

**答弁** 総務課長  
県が目指す六項目の内容は、当町の長期総合計画の中にも、諸々が示されていますから、この点は県と連携を密にしながら取り組んでいきたいと思っております。

## 和歌山県が目指す将来像(新長期計画)

和歌山県が目指す将来像は「未来にはばたく愛着ある郷土 元気な和歌山」であり、1つは県民が郷土和歌山に深い愛着を持ち、元気にいきいきと暮らせる和歌山。2つは古くから守り、継承してきた世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を初め郷土の自然や歴史・文化を国内外から訪れる多くの人々に体験していただき、その魅力を世界に向けて発信する和歌山。3つに進取の気性を発揮し、県民や県内産業が世界を視野に入れて活躍する和歌山。の3項目の将来像を構成する6本の柱として、下記のとおりとなっている。

### 1. 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山

- ①元気な和歌山の未来を拓く人づくり
- ②明るく元気な社会づくり

### 2. 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山

- ①少子・高齢化への対策
- ②福祉の充実
- ③健康わかやまの実現

### 3. 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山

- ①商工業の振興
- ②農林水産業の振興

### 4. 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山

- ①観光の振興
- ②誇れる郷土づくり
- ③環境・自然の保全

### 5. 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山

- ①防災・減災社会の実現
- ②暮らしの安全・安心

### 6. にぎわいと交流を支える公共インフラが整備されていく和歌山

- ①交通ネットワークの充実
- ②IT基盤整備と利活用推進
- ③快適な暮らしの実現



※文章は和歌山県ホームページから抜粋



西山 徹議員

# 環境整備について

～防油堤設置について・その取り組みと啓発は～

質問 農業用重油タンクからの油もれ流出事故が最近多発しており、油もれをおこすと、その回収に多額の費用が農家にかかることになり、防油堤設置は早急な対策が必要と考えるが、その取り組みと啓発についてお伺いします。

答弁 産業課長

現状では、防油堤の設置はほとんど進んでなく、18年の2月から数回、日高郡内で対策会議がもたれ、啓発については、広報いなみに「重油流出の防止のお願い」を掲載し、JA部会

を対象に数回、防油堤設置の必要性を訴え、防油設置マニユアルを作成している。



防油堤の設置は早急な対策が必要

再質問 日高川町においては、防油堤を設置する場合、町の補助事業があると聞きますが、当町では、防油堤の設置をしやすくなるような補助事業を考えていないのかお伺いします。

答弁 産業課長

補助事業については、現状ではむずかしいが、流出事故がおれば周辺への汚染にもつながり、地域住民の迷惑にもなるので、今後少しでも支援したいと考えますので、現在検討中です。

## 下水道処理事業の今後は

質問 印南町の下水道処理事業における実施計画では、平成6年にマスタープランを策定して、おおむね30年計画で下水道処理整備を行う計画ですが、環境問題が叫ばれる現在、積極的な取り組みが必要と考えますが、今後の計画と推進状況についてお伺いします。

答弁 生活環境課長

特定環境保全公共下水道の2地区と農業集落排水施設の残り地区については、住民の要望により、事業に着手するとあり、要望があり次第、計画を立てたい。  
また、個人型合併浄化槽は、今後50基ずつ整備していきたい。



宮ノ前の農業集落排水事業工事の管工事の一部

合併浄化槽設置の面的整備は？

質問 合併浄化槽整備事業における浄化槽設置を面的に整備できないかお伺いします。

答弁 生活環境課長

地元要望で面的整備が出来るが、予算の関係もあり、年間50基の中で考えていきたい。





# 「後期高齢者医療制度」の内容を問う!



榎本 一平議員

**質問** 昨年、国会で成立した「後期高齢者医療制度」が来月4月から導入される。この制度は、75歳以上の高齢者は今まで加入していた国民健康保険などから脱退させられ、後期高齢者だけの医療保険に組み込まれる。保険料は、所得で違いがあり、全ての75歳以上の高齢者から徴収し、年金が1万5千円以上の人は天引き、それ未満では窓口払いとなる。保険料を一定期間滞納すると、保険証が取り上げられる。さらに、75歳以上と74歳以下の医療の値段を別々にし、75歳以上の医療の値段を「定額制」にして制限を設けようとしている。

4月から保険料はいくらになるか。この制度の対象人数に対し、軽減措置が何%を占めるのか。

**答弁** 住民課長

保険料の額は均等割で43,375円、所得割で7.92%となる。当町では、この制度の対象人数は1,648人で軽減措置がとられるのは810人で約半分である。

**再質問** この制度が始まり、保険料の滞納世帯が生じても、保険証の取り上げなどはやめるべきだ。

**答弁** 住民課長

県の広域連合の指示に従い、保険証の発行を停止し、この作業は町が行う。



## 印南原・中越地区の墓地公園計画について町は情報を把握しているか?

**質問** 印南原・中越地区の元ゴルフ場建設予定地に創価学会の墓地公園計画が再び持ち上がっている。

この計画は、本年4月頃より持ち上がっているが、地元関係者などの話では、区民の積極的な要望ではないようだ。この計画を進める人たちは5月と9月に兵庫県の視察に行き、印南原区長、印南原森林組合長の2名連名でアンケート調査の結果報告会を呼びかけている。

予定地となっている中越地区では10月28日にアンケート結果報告を行い、11月25日に再度この計画の説明がされたが、「墓地公園計画には反対」との結果を出したようだ。

町は、この計画について何か把握しているか。また、印南原区や業者などからの申し入れはないか。

**答弁** 総務課長

計画の内容の把握はしていない。また、区や業者からの申し入れもない。

**再質問** 今回は県も世界遺産登録がされ、そこに墓地公園の計画が持ち上がる、ということは印南原区だけでなく、町・県全体に関係してくることに考えると考えるが町の見解は。

**答弁** 教育課長

県の許可が必要で林地開発の取り消しや土地開発法での許可なども必要であるが、現在は許可申請などは提出されおらず、町は聞いておらず、答えられない。



某地域の創価学会の墓地公園

# 「委員会活動報告」

総務文教常任委員会

平成21年4月

統合に向けて

10月23日、真妻小学校と上洞小学校の統合の経過について、教育長、教育課長、担当者から説明を受けた。

## 統合の課題

1. 通学距離について川又で20km以上、バス通学となり低学年の子供たちにとっては負担が大きい。
2. 真妻地区に学校がなく、なることにより地域の過疎化に拍車がかかるのではないかと懸念されている。

## 教育委員会の対応

統合委員会と何回か話し合いを重ねているが、この2点については、教育委員会だけの対応はできない。また、今まで出されている要望についてどこまで応えられるか、内部調整を図っているところである。



## PTAの意見

PTAだけの話し合いは行っていないが、独自のアンケート調査を実施した中に、「少しでも多くの友と学ぶのが学校というところではないですか。そしたら大きな学校で学ばせたいです。」という意見もあり、教育委員会としては、このことが子供を持つ親の切実な思いではないかと受け止め、地域の皆さんのご理解をいただいて子供たちのための学校づくりを進めていきたい。

## 委員の意見

1. 国の方では全国の小学校を対象にした農山村漁村プロジェクトを進めており、校舎を交流の場として受け入れるなど課題解決に対して積極的に提案していくことも必要ではないか。
2. 教育の問題だけでなく、耐震強度の安全面、財政面についても理解してもらわなければならない。



教育委員会より統合の経過について聞く

## 3.

稲原西、稲原小学校の統合の場合は、アンケート調査では100%近い人達が賛成という後押しがあったように、地元の熱意が大事である。

## 教育の現状

小学校に英語活動の導入、小中連携という形の指導も行っており、真妻小学校7名、上洞小学校13名という児童数では町が進めようとしている教育の状況からは厳しい。

最後に、真妻、上洞の子供たちが切目川へ来てもらうことで子供たちに喜んでもらえる

## 厚生常任委員会

### 障害者通所施設について

10月30日、委員会開催。2月6日の委員会で、「県福祉事業団」から町に障害者通所施設建設の申し出があり、町が土地を提供し、事業団が補助金を受け施設の建設、運営をする共同出資という形。

「20年度建設、21年4月開所」ということで、立地の選定を急ぐ。地域検討協議会を作り検討していく」という説明を受け、6月議会において、町長の施政方針で「かえるの里に建設」という報告を受けた。

9月議会で変更の報告はなく、議会閉会后、「補助金なく、規模縮小で調整中。単独でも」という記事が新聞に掲載された。

その後も説明はなく、担当課を呼び現状説明を受け、質疑応答を行った。

事業団と県の補助金協議の中、新設に係る国の補助金が付かないことが明らかになった。補助要綱に新設の補助金は載っていないが、既存施設改修にかかる補助金を優先する方針とのこと。

5月に入り、町も県と再三交渉をもつが、駄目であった。

今回の委員会では次のような質疑がありました。

- Q 建設費補助について、周辺町村に働きかけるということで、町単独でということはないか。
- A 補助金がなくなるといいうことについては、何の説明もなく、規模を縮小し、町単独で新設に決めるとはどういふことか。
- A 運営は事業団、建設費については町が補助するというところで進めてきた。

Q 当初の面積で建設するのか。

A 事業団に変更を求めた結果、生活介護の多機能設備を外し、通常の通所施設に変更することになった。作業場の面積には影響がない。

Q 当初計画で、約2億1千万円の計画であったが、その時の補助率はどうであったか。

A 補助金の結果により負担額が違ってくるので、町の負担額は決まっていなかった。

Q 非常に曖昧な進め方だ。状況が変わったので、統合後の学校利用も検討して欲

しい。新設以外に考えはないのか。

A そうでもない。今後の検討課題だと思う。

以上のような質疑応答があり、委員会としては、当初計画の通り21年4月開所を強く望んでおり、印南町の実情に即した具体的な方策を町と事業団で早急に話し合い、その報告をしてくれるよう進言し、閉会した。

### 産業建設常任委員会

閉会中の所管事務調査として防災対策施設（ハード）について建設課より現状や計画されている事業について説明を受けた。

防災対策については土砂災害対策及び津波危機管理対策がある。

### 土砂災害対策

印南町で想定される土砂災害の主なものは大雨や地震などが引き金となっておこる土石流の災害、地滑り災害、崖崩れ災害等がある。

印南町では土石流危険箇所が232箇所、地滑り危険箇所が13箇所、急傾斜地崩壊危

険箇所が400箇所となっている。

今までのハード対策事業は（昭和59年度から）急傾斜地崩壊対策事業として28箇所、土石流危険箇所については王子川支流、切目川支流について荒廃砂防対策事業を実施している。

### 津波危機管理対策

津波や台風による波浪、高潮から住民の生命、財産を守るための事業として、津波・高潮危機管理対策緊急事業と漁港漁村活性化対策事業を実施している。

津波・高潮危機管理対策緊急事業の目的は、津波や高潮などから国道42号の円滑な走

りに支障を来さないよう浸水を防ぎ、背後集落への浸水防御を図るため、平成18年度に切目漁港、元村の陸間3基、平成19年度には

印南川河口の陸間9基の整備を実施。また、光川の防潮堤の耐震の調査の結果、耐震化補強を計画していく。

### 漁港漁村活性化対策事業として

、巨大地震の発生時に、最大限の人命の確保を図ることを目的に、平成18年度、19年度で印南地区「要害山」への避難道の整備を実施している。

平成18年度から町単独事業として実施している避難道の整備については、平成18年度に浜区1箇所、地方地区1箇所、本郷地区2箇所、元村地区1箇所、上道地区1箇所の計6箇所。

平成19年度として、元村地区1箇所、地方地区2箇所の計3箇所を予定している。

建設課より説明を受けた



元村地区の陸間

後、質疑応答に入り、地震における被害は海岸部だけではなく、山間部においても大きな被害が予想されること、ハード面での防災対策は万全としても、ソフト面での災害対策は必要であるとのことで討論をしました。

会議の後、町内の海岸部での防災施設の現地視察をし、委員会を終えた。





## TOPICS1

# 印南町内小学生が 議会を見学

課外授業の一環として10月19日、稲原小学校、稲原西小学校の生徒が議会の見学に訪れました。議場では事務局職員が議会についてわかりやすく説明。それぞれにメモなどを取り、熱心に聞いていました。議長席や町長席、議員席に座り、疑似体験もしました。最後は集合写真をパチリ。



## TOPICS2

# おいで吉(よし) "健康神話のふるさとへ"

日高振興局の政策コンペ「おいで吉(よし)健康神話のふるさとへ〜スタディ・ウォーキングイベント〜」が11月17日、200人が参加して、印南町で開催されました。

午前中は県観光大使であるデューク更家さんの「健康になる体の動かし方」を参加者に伝授。公民館で豚汁を食して、「オの川観音」「おつぼさん」「歯の観音」「子授け地蔵」「イボ薬師」などの健康お詣りコースを巡り、晩秋の印南町を散策しました。



# 中紀精機株式会社

町内企業めぐり5

町民の皆さんに、もっと町内企業を知っていただこうと、議会だより32号から町内企業を紹介しています。今回は印南町島田「中紀精機株式会社」をご紹介します。

## 電子産業の最先端をいく中紀精機！



代表取締役 林 俊男 氏

いています。

**最近の景気動向は  
いかがでしょうか？**

オリンピックの前は好景気になると言われています。来年北京オリンピックが行われますが、今年はその前年に当たり、受注状況は増加の傾向にあります。(07年12月末に取材)

**会社設立から今日までを  
お聞かせ下さい**

設立は1971年。現在、従業員は180名(うち、本社工場(島田)は50名)です。もともとは電子部品を作る機械を製作していましたが、チップ抵抗器の生産設備を開発しました。

その後、太陽誘電と取引が始まり、抵抗器をさらに小さくすることに成功しました。

現在は、インダクター(極小のコイル)を製作しており、携帯電話、デジタルカメラ、ビデオカメラなどのデジタル家電に使用され、業界では最先端を

**どの業界も価格競争が  
激しい中で会社運営の  
ためにどのようなことに  
努力されていますか？**

価格競争は非常に厳しいです。そういった中で、1時間当たり生産性を高めるように生産技術の研究開発などに力を注いでいます。

**印南町への要望などは  
ございますか？**

この辺は水不足が悩みでしたが、町が対応してくれたので感謝しています。

従業員の採用という面では、若い人たちがもっと地元に戻ってこられるように努力をお願いしたいと思っています。

**ISO14001を取得  
して環境問題にも取り  
組んでいるようですが、  
内容をお聞かせ下さい。**

私たちは環境問題は、地域で安心していただける事業を継続的に発展させる上で不可欠な問題だと考えています。

太陽誘電のグループとしてISO14001を2001年4月に取得し、安全衛生、環境についての基本理念と9項

目の行動方針からなる「環境憲章」を作成し、取り組んでいます。

具体的に、省エネ目標を設定しての会社運営、資源を大切にす(OA用紙や水のムダ使用をやめる)廃棄物のリサイクル率を高めている。

当社では製品中に含まれる有害物質の除去に成功し、さらなる目標を設定するなどの項目を中心として会社運営に努力しています。



環境に優しい職場づくりに目指して

## あとがき

新年あけましておめでとうございます。

本年も町民の皆さんのご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

さて、昨年の世相を表す言葉として「偽」という漢字が選ばれました。この漢字を象徴するような、いやな事件、町民の皆さんの生活にも影響する出来事がたくさん起きた年でした。

今年も衆議院の解散・総選挙の可能性が大きいといわれています。今ほど誰もが安心して暮らしている社会をつくるのが求められている時期はありません。国の政治の責任が求められる2008年になりそうです。

私たち広報特別委員会は、今年も、よりわかりやすい議会だよりづくりに努力しますので、よろしくお願いたします。

### 議会広報特別委員会

- 委員長 榎本 一平
- 副委員長 西山 徹
- 委員 廣野 英幸
- 委員 前山 立美
- 委員 谷井 長平
- 委員 鈴木 紀博